【第156号　二〇一七年十二月 五日発行】

福音の園だより

平成18年度「高年齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞
平成27年度「介護職員確保・定着の為の優れた取組」表彰

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
３５０－００１６ 埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人 **福音の園・埼玉　事務局**
☎０４９－２３０－１１１１(FAX２３０－１１１２)

ボランティア体験プログラム(7・8月)参加者の声

私の知らない時代の話が聞けて

普通の老人ホームと違い、小規模で住居のような作り、利用者の方と職員の方の距離が近くて、皆さん快適に過ごされていて、私も活動しやすかったです。

奉仕する立場のはずが、利用者さんに「ありがとう」と言われたり、手を暖めてもらったりして、思いやりを頂く時もありました。音楽療法では、利用者さんの生きてきた時代や、その日に合わせたプログラムが組まれ、歌ったり演奏を聴いたりしながら、昔のことを思い出せるようになり、音楽の力が生かされていると思いました。私の知らない時代の話を聞けたり、個性あふれる個室を見て、その人への理解が深まりました。

食事が、施設の職員さんによって作られているのがグループホームならではで、栄養豊富で一人ひとりに合わせた食事を提供できるのが良いと思いました。掃除や食器洗い、利用者さんの話し相手、料理のちょっとしたお手伝いだけでしたが、少しでもお役に立てたのなら嬉しいです。３日間ありがとうございました。（大学生・女性）

理念・方針説明――「希望への支援の実践」

賞味期限切れでない「新鮮な言葉」を！

グループホーム **福音の園・川越** ホーム長　杉澤 卓巳

７月定例「スタッフ研修・会議」席上、計画作成担当が「食中毒予防の注意喚起」した折、調理配膳後、余った惣菜類を容器へ移し冷蔵庫に入れる際は「調理日時」をメモ書き貼付して！があった。思わず、聖書の一節が心に浮かび、翌月の同会議で次のように『**「福音の園・川越」運営方針**』説明した。

※　※　※　※　※　※

『悪い言葉を一切口にしてはなりません。ただ、聞く人に恵みが与えられるように、その人を造り上げるのに役立つ言葉を、必要に応じて語りなさい。』

（新約聖書　エペソの信徒への手紙　４章２９節）

方針：「賞味日付の新しい言葉」を身に着ける

「悪い言葉」とは「腐った言葉」、「カビが生えている言葉」だと解説されます。何故、腐ってカビが生えてしまうのか？　答えは一つ「賞味期限が切れてしまっているから」。うっかり、これを見落としたばかりに大変な「食中毒」を発生させてしまう。

１．「人の心を建て上げる言葉」を習得する為に

生き生きと語られる言葉が「崩れてしまっている心」を造り上げる、立たせて上げる慰めの言葉になる。人の心を建て上げ、造り上げる言葉を習得する、私たち介護従事者は「言葉の使い手」だと言えます。

２．「気付き」の大切さ　園だより８月号(第１５２号)**『ここに来れば病気が出る』**と題して「気付き」を取り上げました。「私は介護の仕事をしています」と言うとき「言葉」で仕事をしていることに気が付いていない。だから言葉より先に「手を出して」暴力・虐待になる。手が出ないまでも荒々しい「腐ってカビの生えた言葉」、「腐敗をもたらす汚い言葉」を発して「**職場中毒**菌」を蔓延させてしまう。結果、劣悪な職場環境（入居利用者生活環境）になってしまっているのが、福祉介護業界の偽らざる現状です。

「気付かない」まま「この職場は私に合っていないから！」と転職が繰り返される。「気付けない人」はどこへ行っても同じことを繰り返してしまわれる。例えば、何かにつけて「利用者のためだから！」と持論を押し通そうとしてしまいやすい。冷静に分析すると「利用者本位だから」と言いながら、実のところ自分本位な仕事をしてしまっているのではないか？　「自己中」な姿勢の中で発せられる言葉が「腐ってカビの生えた言葉」になってしまう。聖書の言葉が迫って来ます。

３．「今日」と云う賞味日付の「新鮮な言葉」を

経験豊富な人ほど「前の施設では○○だった！」と体験事例を声高に主張してしまう誘惑に陥りやすくなります。けれど「申し訳ないが、もう賞味期限が切れてしまっていますよ！」と申し上げたい。

がん哲学外来で言葉の処方箋を提供する樋野興夫さんが『**そのときどきで患者さんに向き合い選んだ言葉ですから、ある患者さんには適切だと考えて伝えた言葉と、別の患者さんに贈った言葉とが一致しないこともある**』と柔軟にその時々に患者さんと向き合い選んだ「新鮮な言葉」がその人を立て上げると語っています（『**いい覚悟で生きる**』樋野興夫著）。本日の後半、「各階分散」した席で練られるのが「新鮮なケアプラン」。

賞味期限の切れた言葉に固執しているから成長出来ず堂々巡りしてしまう。国家資格や豊富な経験も十分活かし切れず不完全燃焼してしまわれるのです。

御礼

馬鈴薯・玉葱　○○　○○様(北海道・共和町)